

令和6年度

湖南省地域代表者会ワークショップ

令和6年（2024年）12月20日（金） サンライフ甲西2階大ホール 於



令和5年度10月定例会 情報交換まとめ

テーマ①地域まちづくり協議会と区・自治会の連携を深めるために行った変更点について

区長とまち協役員との合同会議を第二土曜日に実施するようになった。

現状の問題点は、まち協に関わってくれている住民が90名程いるが高齢化と参加率の低さが問題。

令和5年度初めに新まち協会長と区長の個別面談を実施し、連携できるポイントの模索と現状を共有した。

「区とまち協は違う」という意見もあり、区とまち協の連携については引き続き検討が必要。

新任区長は、自身の区の範囲を越えた広域のことまで考えが至らない。そのようなことがまち協と区の連携の問題点としてあるのではないかと。

コミュニティプランの改正で区長会とまち協会長の役員会を新設し、意思疎通が図りやすくなった。

区長は評議員としてまち協と少し距離を置いた関わり方のところや、区長がまち協の役員として参画、区長と自治会長がセットで役員として参画しているところもある。

情報の連携は一定図れており、広域に係る要望書の提出などはまち協が取りまとめて対応している。学区の全区長がまち協役員として参画している。

令和5年度10月定例会 情報交換まとめ

テーマ②令和6年度の地域まちづくり協議会事業を検討するにあたり、区・自治会や地域の関係者のニーズを事業に取り込む方法

区によって区・自治会加入率が大幅に異なるためニーズを取りまとめることが難しい。防災と人権はまち協が船頭するのが良いのではという意見もあった。

各まち協で年間行事が固定化しているということが共通の問題。区は区、まち協はまち協という認識が根強いため、区からの情報や要望がまち協へ届きにくい

広域で対処すべき問題があったとしてもスムーズに対応するための仕組みがないため取組みにくいという現状がある。

グループ共通の問題は高齢化による役員の成り手不足。まずはこれをどうにかしないと事業の連携などの検討まで至らない。

2年前からの区・まち協の連携に関する検討の中で、区長がまち協の役員や副会長などになり、テーマ②に関しては一定解決しているのではないかという意見があった。

過去の経緯がない学区については、区とまち協の部会同士の連携など、各組織の事業がうまく融合できるポイントを模索することが最初に着手すべきことかと思う。

新興団地、旧在所などそれぞれ地域の特徴や問題があるため、全学区で統一したやり方はないと感じた。そのような違いを認識しながら上手く連携を図っていきたい。

ワークショップテーマ

各区・自治会で行っている加入促進、退会防止策について

例えば、退会防止策として区・自治会内で高齢者世帯が増加しているため負担軽減のため、役員数を減らす、事業内容を工夫する など